

# 大石神社秋季大祭

令和5年10月1日9時30分

さつま町中津川:大石神社境内

# 金吾様踊り



さつま町中津川地区に伝わる「金吾様踊り」は、織田・豊臣時代にいた、  
那答院島津家初代・金吾（左衛門督）歳久を祀る「大石神社」秋季大祭に  
奉納される踊り。

## 踊りの紹介

子どもみこし



子どもハンヤ



恵光保育園

手踊り



弓之尾恵友会



### 棒打ち舞

戦国時代から踊られていたと伝わる、大念仏行列の一つ  
祭の地を清める舞と言われ神楽系統の棒技と見なされる。



### 地割舞

400年前から踊られてきた大念仏行列の中の一つ、由来につい  
て諸説あり領地を決める地割り説と、祭神をお招きする地を清め  
る為の舞とあります。



### 稚児舞

大念仏行列の一つで、清純無垢な稚児は祭りの場で神のよしみ  
として重要な役を与えられた。子ども自身の無病無災を願い、豊  
かな心をもってほしいという意味合いもあります。



### 兵児踊り

兵児踊りの由来について、参勤交代の島津の殿様について薩摩から  
江戸間の長い行程を、苦勞しながら往復した兵児たちが、士気を鼓舞し  
楽しい旅にしようと、夜の酒宴で踊ったものだといわれています。



### 鷹刺し踊り

踊りの由来について、領主の狩猟は武士の武術の修練と領民の動向視察  
の目的をもって農民を勢子に駆り立て奉公させた。この鷹狩りの様子  
を踊りにしこみ、お祭りや殿様の領内廻りなどの時、武運長久と領内安  
穏、領民の安全を祈って踊るようになったといわれています。



### 六尺棒踊り

踊りの由来は、撃劔浅山流からあみだされたもので、藩主が一般の  
士気を鼓舞し、いざというときに備え、棒術を踊りに仕込んで農民の  
子に踊らせ、鍛錬したものという説もあります。



### 虚無僧踊り

虚無僧踊りの由来は、昔「虚無僧」に変装して、仇討ちの本懐  
を遂げ、妻と喜んで踊った踊りと伝えられています。



### 三尺棒踊り

三尺棒踊りの由来は六尺棒踊りと同じ、三尺棒はもっ  
ぱら相手の前後左右と切り結び合う剣劇風の踊りです。



### 俵踊り

(中津川文化財少年団)

俵踊りの由来は、昔は社寺の落成式や祭りなど当日の催しものによく  
相撲が企てられた、これを勧進相撲と呼んだ。この催しに寄進された金  
品や米俵などを、土俵に積み上げて観衆に披露した様子を、踊ったもの  
と伝えられています。

お問い合わせ

0996 - 57 - 0884

中津川交流館

中津川区

## 金吾様踊り活性化実行委員会